

→ 私達の人生は、主の目の前にある

箴言 5:21 人の道は主の目の前にあり、主はその道筋のすべてに心を配っておられる。

詩編 139:1 主よ。あなたは私を探り、私を知っておられます。2 あなたこそは私のすわるのも、立つのも知っておられ、私の思いを遠くから読み取られます。3 あなたは私の歩みと私の伏すのを見守り、私の道をことごとく知っておられます。4 ことばが私の舌にのぼる前に、なんと主よ、あなたはそれをことごとく知っておられます

- 1) 父なる神様は、私達のすべてをご存じです。どのくらい？全てです。考えも、計画も、何をしゃべろうかとしていることも、口に出す前からご存じです。私達の道をことごとく。
- 2) 父なる神様は、私達のすべてに、心を配っておられます。いつも見守られているのです。

→ 人間はどうでしょうか？私達の目の前に神様の道があるのでしょうか？

➤ エジプトから出てきた、イスラエルは主の目の前に悪を行った

民数記 32:11 『エジプトから上って来た者たちで二十歳以上の者はだれも、わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓った地を見ることはできない。彼らはわたしに従い通さなかった。12 ただ、ケナズ人エフネの子カレブと、ヌンの子ヨシュアは別である。彼らは主に従い通したからである。』
:13 主の怒りはイスラエルに向かって燃え上がったのだ。それで主の目の前に悪を行なったその世代の者がみな死に絶えてしまうまで彼らを四十年の間、荒野にさまよわされた。

➤ 約束の地に入ったイスラエルの民も主の目の前に悪を行った

師士記 10:6 またイスラエル人は、主の目の前に重ねて悪を行ない、バアルや、アシュタロテ、アラムの神々、シドンの神々、モアブの神々、アモン人の神々、ペリシテ人の神々に仕えた。こうして彼らは主を捨て、主に仕えなかった。

➤ 主の前に悪を行うとは？

カナン地の神々に従った：世の中の常識や慣習に従う。

神様を捨てて、神様の御言葉に従わない。

→ ダビデの人生から学びましょう

1. 目の前に卑しいことを置かないと告白

詩編 101:3 私の目の前に卑しいことを置きません。私は曲がったわざを憎みます。それは私にまといつきません。4 曲がった心は私から離れて行きます。私は悪を知ろうとしません。

➤ ダビデが王様になったときに、主の前で宣言しました。

◇ 卑しいことを置かない

◇ 曲がったわざを憎む

◇ 悪を知ろうとしない

2 罪を犯した時；自分の罪を隠さない

詩編 51:3 まことに、私は自分のそむきの罪を知っています。**私の罪は、いつも私の目の前にあります。** 4 私はあなたに、ただあなたに、罪を犯し、あなたの御目に悪であることを行ないました。それゆえ、あなたが宣告される時、あなたは正しく、さばかれる時、あなたはきよくあられます

1) アダムとエバの罪

- 神様の御言葉に従わないで、悪魔の声に聞いて、肉欲に従いました
- 神様が、アダムを呼ばれた時に、アダムは神様の前から隠れました。
- 神様は、アダムとエバをエデンの園から追放されました。

2) ダビデの罪

- バテシェバとの姦淫の罪とバテシェバの夫を殺す罪を犯しました
- ダビデは、預言者に罪を指摘された時、主の前に罪を隠さず、罪を悔い改めました。
- 神様は、ダビデの罪を赦して下さったのです。

3 目の前に主を置いた

詩編 16:8 私はいつも、**私の前に主を置いた**。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。 9 それゆえ、**私の心は喜び、私のたましいは楽しんで**いる。**私の身もまた安らかに住まおう**。 10 まことに、あなたは、私のたましいをよみに捨ておかず、あなたの聖徒に墓の穴をお見せにはなりません。 11 あなたは私に、**いのちの道を知らせてくださいます**。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。

使徒 2:25 ダビデはこの方について、こう言っています。『**私はいつも、自分の目の前に主を見ていた**。主は、私が動かされないように、私の右におられるからである。』

1. いつも主を目の前に見る。

- イエス様の言動：隣人を愛し、神様を愛する言葉と行い
- いのちの道を知らせてくださる。

2. 霊、肉、たましいの幸いに満たされる人生

- 心が喜び、たましいが楽しみ、身も安らかに住む。

応用

- 私達の道は神様の目の前にあります。

1. 私達の行動を全てご存じ。
2. 私達の言動もすべてご存じ
3. 私達の人生全部において心を配ってくださっている。

- 私達の道は、神様の道が目の前にあるでしょうか？

1. イスラエルはいつも主の前に悪を行い、神様を捨てて、偶像礼拝をしました。
2. ヨシュア、カレブは主の道を歩み続けて、勝利を体験しました。
3. イエス様にいつも目を留めましょう。

- ダビデの歩み

1. 悪を憎んだ【悪い思いや言葉】悪を知ることを憎んだ。悪を取り除いた
2. 肉欲に従って罪を犯した時、悪を隠しもって置くことなく、主の前にさらけ出して、悔い改めた
3. 主をいつも目の前に置いて歩んだ。いのちの道を歩んだ

- 霊、肉、体とも幸いな人生を歩むには？

- 1) 主をいつも目の前に置いて、主の道を歩む。
- 2) 主が心を配ってくださることに感謝をして主と交わる。祈りに関して